

【特別講演4】 第16席**「病をなおす“法”と病をなおす“コツ”」**

高知 塩見 哲生

経絡治療は難しく観念的だと、よく云われますが私は最も簡単で客観性をもった治療であると思います。

経絡治療は気を中心とする鍼法でありますので、精神労働を主とする現代人にとって、最も有効な治療法であると思います。西洋医学の弱点を補う最も時代的要求に叶う治療法であると思います。

経絡治療の基本理念である陰陽哲学を正しく理解するならば難しく思われている病因論や虚实論、そして補瀉も、特に難しいと云われている脈診法も比較的簡単に取得できると思います。

“大極分かれ陰陽生じ”と云われますが陰陽とは遠心性と求心性で考えれば良く理解できると思います。

この遠心性と求心性の陰陽の見方から体質、病因、病症、虚实、脈診を中心とする診断法と補瀉の手法について具体的に説明させていただきたいと思います。